

明治八年
大坂
錦周
新聞
第一号

東京の人分母常吉といふの谷中の方
よりあき車曳て黒門外に「来り」物下
女の泣聲「追刺」思案「の」賊「振
て客待」の「白浪」刺「せ」る
衣類「脊」に「来」る「所」常言「且那
上洪」を「れ」推「津」逆「も」小「法」界
價安「定」毎「我」の「心」を「く」る「細
引」を「く」直「人」力「巡」の「早
走」罪「な」り「ま」巡「査」の「所」の「門」を
賊「く」大「聲」官「棒」の「た」走「り」出「る
販」物「ま」は「ん」を「よ」る「ま」は「ん」を「よ
る」あ「く」もの「を」で「る」れ「い」ら「し」



河坂文也

略誌
馬圖
時
[Red Seal]

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9

